

北関東防衛局広報

令和2年3月(第102号)

編集・企画発行 | 北関東防衛局総務部広報室
埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>



榛東村から前橋市方面を望む絶景(写真提供:榛東村)

目次

CONTENTS

- 2 日米文化交流会(学校交流)の開催
- 3 日米音楽交流in立川
- 4 第44回防衛問題セミナー
- 5 防衛施設周辺の環境整備事業
- 6 事務所だより(～前橋防衛事務所～)
- 7 北関東防衛局からのお知らせとお願い
 - ・米軍施設上空や周辺でヘリやドローンを飛行させる行為は危険です
 - ・北関東防衛局ロゴマークを作成
 - ・レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
- 8 在日米軍従業員募集

日米文化交流会(学校交流)の開催

横田基地内小学校を日本の小学生が訪問

北関東防衛局では、平成26年度から、米軍横田基地内に所在する小学校の生徒と同基地周辺自治体に所在する小学校の生徒が、相互の文化等を一緒に体験する交流事業を実施しております。この交流は、日米の相互理解を深めるとともに将来に向けての更なる信頼関係の醸成を目的としており、今回で6回目の実施となります。

過去5回は、横田基地内の小学校の生徒が日本の小学校を訪問する形で交流が行われていましたが、今回は日本の小学生が横田基地内の小学校を訪問する形で交流が行われました。2月3日(月)に福生市立福生第七小学校の5年生の生徒が横田基地内にあるメンデル小学校を、2月6日(木)に瑞穂町立瑞穂第五小学校の6年生の生徒が同基地内にあるウエスト小学校を訪問しました。

福生第七小学校及び瑞穂第五小学校の生徒たちは、事前に準備した英語でメンデル、ウエスト両小学校の生徒とコミュニケーションを図りながら教室でのアクティビティーに取り組んだり、校庭で一緒に身体を動かしたりして、交流のプログラムを楽しみました。

2月3日の交流の様子



皆で楽しくフットサル



仲良くランチを食べました



日本についての英語でのクイズ

2月6日の交流の様子



皆と一緒に課題に挑戦



ランチタイムに肩を組んでダンス



中庭でのアクティビティ

交流の終了後、交流に参加した日米各学校の先生、生徒を対象にアンケートをお願いしました。このアンケートは今後の交流をより良いものとするためのものです。横田基地内小学校で交流を行う今回の試みは、過去に実施した参加校、参加者の声に応え、日米双方の学校等との調整を経て実現したものです。

北関東防衛局では、今回の交流がきっかけとなり新たな日米間の交流が生まれるよう、さらに充実した交流の実現に向けた企画の立案及び調整を図っていきたいと考えております。

日米音楽交流in立川

立川市内中学校吹奏楽部と米国空軍太平洋音楽隊との交流

北関東防衛局では、日米文化交流(学校交流)とともに、音楽を通じて日米の相互理解を深めてもらうことを目的として、横田基地周辺の学校等と同基地に所在する米国空軍太平洋音楽隊との交流事業を実施しています。この音楽交流事業では交流の成果を発表する場として音楽会を開催し、基地周辺の住民の方々に楽しんでいただいています。

今年度は、立川第二中学校と立川第八中学校の2校の吹奏楽部と米国空軍太平洋音楽隊との間で交流を行いました。両校の吹奏楽部の皆さんと米国空軍太平洋音楽隊の隊員は音楽会当日に向けて、事前交流や合同練習を実施してきましたが、今般の新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえて、お子様から高齢者の方までの幅広い年齢層の方々に安心してご参加いただける環境ではないとの判断から、音楽会については残念ながら中止といたしました。

両校の吹奏楽部の皆さんと米国空軍太平洋音楽隊の隊員は、いずれも交流の成果を大舞台で披露できることを楽しみにしながら事前交流や合同練習を行ってきました。ここでは事前交流や合同練習の様子をご紹介します。

事前交流

立川第八中学校での様子(1月23日(木))



立川第二中学校での様子(1月24日(金))



合同練習

2月8日(土)たましんRISURUホール



2月22日(土)の音楽会当日に向けて、立川市、両中学校、横田基地関係者を含む多くの方々のご協力を得て準備を進めてまいりました。本音楽会を楽しみにされていた関係者の皆様、たくさんのご応募をいただいた皆様に感謝申し上げます。

当局としては、今後も引き続き、日米友好の架け橋となる音楽交流を実施していきたいと考えております。

第44回 防衛問題セミナー

「両毛と信越の守り ～空中機動力を有す陸上自衛隊第12旅団～」

令和2年1月17日(金)、高崎シティギャラリー(群馬県高崎市)において、第44回防衛問題セミナーを開催しました。当日は222名の方々が来場されました。

このセミナーは、「両毛と信越の守り ～空中機動力を有す陸上自衛隊第12旅団～」をテーマとし、東部方面隊隷下の第12旅団司令部が相馬原駐屯地に所在することに鑑み、群馬県において第12旅団の任務や活動等をテーマとして講演することにより、防衛施設の安定的な使用について地方公共団体や地域住民の方々などに理解を深めていただくことを目的として開催しました。

当日のセミナーでは、最初に主催者を代表して松田尚久局長が挨拶を行った後、講演の部で陸上自衛隊第12旅団長の田尻祐介陸将補に「陸上自衛隊 第12旅団の任務と役割について」講演していただき、演奏の部で陸上自衛隊 第12音楽隊に音楽演奏をしていただきました。

参加者からは、「12旅団の現状・活動内容が理解できた。空中機動力を生かした即応態勢に感動した」、「自衛官の方々の使命感を感じた」、「選曲が良く感動しました」、「少人数の演奏なのに迫力があつた」など、多くの感想が寄せられました。

なお、このセミナーの開催に当たり、群馬県、高崎市、榛東村及び吉岡町から「後援」を、陸上自衛隊 第12旅団及び自衛隊群馬地方協力本部から「協力」を、それぞれいただいています。



局長挨拶



会場受付



講演の様子



演奏の様子

防衛施設周辺の環境整備事業

令和元年12月25日(水)、瑞穂町主催の瑞穂町新庁舎内覧会式典が開催され、杉浦裕之瑞穂町長を始めとした関係者ほか、近隣自治体の首長などが出席しました。当局からは松田尚久北関東防衛局長らが出席し、皆様と共に新庁舎の完成のお祝いをしました。

式典では、関係者と園児を含む町民らによるテープカットなどが行われ、その後の内覧会では最新の技術が施された地下の免震構造を紹介するなど盛大なイベントとなりました。

この新庁舎は、自然エネルギーを活用し環境に配慮した建物となっており、役場機能のほか災害時の防災拠点となる施設となります。

旧庁舎は老朽化に伴う耐震不足等が判明し瑞穂町として庁舎新設が喫緊の課題となっております。

当局は、瑞穂町内に所在する在日米軍及び自衛隊の横田飛行場を離発着する航空機の騒音により、行政サービスや議会運営等が阻害されており、その障害の緩和に資するため、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条の規定に基づき、平成28年度から令和元年度にかけ、整備費用の一部(約6億18百万円)を助成しております。

当局といたしましては、今後とも防衛施設周辺にお住まいの皆様方の生活の安定と福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。



松田北関東防衛局長祝辞

瑞穂町新庁舎



テープカット



免震構造見学

概要 (庁舎棟)

防音助成事業(2級)
 事業費：約23億円
 補助額：約6億18百万円
 規模・構造：RC造 地上5F(一部3F) 免震構造
 太陽光発電システム

事務所だより

～前橋防衛事務所～

四万温泉と「四万ブルー」

前橋防衛事務所は、前橋駅から約2km、群馬県庁にほど近い前橋地方合同庁舎に所在しています。同庁舎には財務省関東財務局前橋財務事務所、厚生労働省群馬労働局、法務省前橋地方法務局などの官署が入居しており、近隣には前橋地方検察庁や前橋市役所などがあることから官庁街となっています。

当事務所は、所在する群馬県のほか長野県、栃木県の3県を管轄しており、管内にある防衛施設はすべて陸上自衛隊で、群馬県内には相馬原駐屯地、相馬原演習場、新町駐屯地、吉井弾薬支処、長野県内には松本駐屯地、松本基本射撃場、栃木県内には宇都宮駐屯地、北宇都宮駐屯地等があり、防衛省・自衛隊が行う政策や各種事業について、これらの施設の関係地方公共団体及び地域住民の理解や協力を得るため、日々、上州名物「からっ風」にも負けず、情報提供や各種調整業務等を行っています。

緑豊かで意外？とおいしい食べ物が多い群馬県ですが、「からっ風」で冷えたからだを温められる温泉地も多数あり、「草津、四万、水上、伊香保」のいわゆる四大温泉を始め、「万座、老神、藪塚、猿ヶ京、磯部」等々、宿泊施設を備える温泉地は約100ヶ所を数えます。

今回は、数ある温泉地の中から、吾妻郡中之条町にある「四万温泉」の魅力を紹介します。

「四万温泉」は、県北西部の上信越高原国立公園の中にあり、周囲を1500m級の山々に囲まれた温泉地で、温泉街は四万川に沿って広がり、「千と千尋の神隠し」のモデルとなったことで有名な旅館を含め30軒以上の温泉旅館があります。泉質はアルカリ性単純温泉とナトリウム・カルシウム塩化物・硫酸塩温泉で神経痛や皮膚病、切り傷等の治癒に加え、飲めば胃腸によいといった効能が顕著なことなどから、昭和29年には青森県の「酸ヶ湯温泉」、栃木県の「日光湯元温泉」とともに「国民保養温泉地」の第1号に指定されています。「四万の病を癒す霊泉」であるとする伝説が「四万温泉」の名前の由来となっているそうです。

「四万温泉」の魅力を語る上で欠かせないのが四万川の水の色。いわゆる「四万ブルー」と呼ばれる水の色は、眺める場所や季節、天候などによって色彩が変化する神秘的な青色で、温泉地の入り口付近にある「桃太郎の滝」や天然記念物「四万の甌穴群」、一番奥にある四万川ダムによりできた「奥四万湖」などでその美しい水の色を眺めることができます。美しい青色の秘密は、太陽光の中でも水に吸収されにくい青い光が散乱されて私たちの目に届くことと、「四万温泉」の成分によるもので、眺めているあいだにも光の加減により刻々と変化するため、「四万ブルー」を楽しむのは晴れた日が特におすすめです。

東京駅から特急電車とバスで約2時間30分と手頃な距離で、群馬県の郷土かるた「上毛かるた」にも「世のちり洗う四万温泉」と歌われている名湯に浸かって、自分だけの「四万ブルー」を見つけに出かけてみてはいかがでしょうか。



(写真：四万川に流れ込む「桃太郎の滝」)

北関東防衛局からのお知らせとお願い

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、重大事故につながるおそれのある大変危険な行為ですので、行わないでください。

こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害した時等は、法令違反に当たる場合があります。



米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、米軍の航空機との衝突事故等につながるおそれがある大変危険な行為です。

実際に、米軍ヘリが衝突を避けるために回避を余儀なくされる等、米軍航空機の航行の安全に影響が生じるような事案が発生しています。こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、法令違反に当たる場合があります。

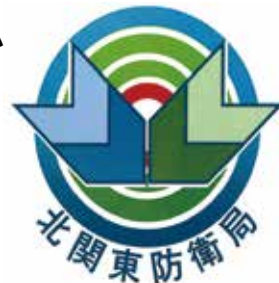
安全確保のため、御理解をお願いいたします。

防衛省、警察庁、国土交通省、外務省

■本チラシの内容についてのお問い合わせにつきましては下記のいずれかの部署に御連絡願います。
 防衛省本省 地方協力局地方協力企画課
 (代表) 03-3268-3111 (内線: 36245、36047)
 防衛省北関東防衛局 総務部報道官
 (直通) 048-600-1804

北関東防衛局ロゴマークを作成

今後、広報紙・ホームページ等に活用してまいります。



コンセプト

- ① 中央の4つの矢印は、自衛隊、米軍、北関東防衛局及び住民・自治体を表し、北関東防衛局の「北」という文字を模して配置した。
- ② マーク全体は、的に矢が射られている様子をイメージしている。各々の矢は、1点に向かっており、これは、4つの機関等が協調性・調和をもって1つのことに取り組んでいくことを表している。
- ③ 内側の赤い輪は、家族・個人の生命・財産を、その外側の緑の輪は、地域やコミュニティを、更にその外側の緑の輪は、自治体・行政組織を、そして、外側の青の輪は、領土・領海・領空を表している。

レーザー光線の航空機への照射は**犯罪**(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので**決して行わないで下さい。**

照射している人を見かけた方は**110番通報**をお願いいたします。



レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

(注)平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金))。刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金)、航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合あり。

平成27年12月及び平成28年11月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

外務省、防衛省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。

防衛省本省 地方協力局地方協力企画課在日米軍調整室

(代表)03-3268-3111(内線:36867、36054、36688)

防衛省北関東防衛局企画部地方調整課

(東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄) (代表)048-600-1800(内線:2213、2225、2226)

在日米軍従業員募集

日本の「アメリカ」で 働きませんか！

..... 「エルモ」が応援！ あなたの就活！



Bridge

Between

japan

and

USA

独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】では、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。下記の支部にお問い合わせください。

窓口応募受付・お問い合わせ先

エルモ横田支部管理課管理第二係

住所：東京都昭島市田中町568-1 昭島昭和第2ビル 4F

電話：042-542-7663

担当施設：横田飛行場、ニューサンノー米軍センター、赤坂プレス・センター他

<https://www.lmo.go.jp>

「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/kouhou/kouhou.html>